2022 年度　進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：２０２２年　１０月　１４日
● 事　業　名　：小さなものづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で、社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人まちぽっと
● 実 行 団 体　：一般社団法人栃木県若年者支援機構

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①-1　いままでどこにも相談できなかった当事者が、SNS を通して相談できるようになることで、社会的資源につながる当事者が増える。	・相談件数	100 件/3 年	2023 年 3 月末	2022 年 9 月末現在でのべ相談件数 285 件。相談人数は 16 人。うち 3 名が他の相談機関や福祉窓口、病院につながった。	1
①-2　SNS 相談のノウハウを蓄積し、それを開示することで、他のひきこもり支援事業者が SNS 相談を開始することができるようになり、全国の相談事業が活性化する。	・事業実施元に問い合わせあり、その後 SNS 相談を開始した事業所の数	5 件/3 年	2023 年 3 月末	徐々に地域の中でも LINE 相談が始まりつつあるが、当方がモデルとなったケースはない。	3

②-1　ひきこもり等当事者が学びなおしの場を得て高認等の資格を取得することにより、自信をもって就職活動に臨めるようになる。	・学びなおしの場への参加者数 ・資格取得者数 ・参加者の内的・外的状態変化 （新しい行動を開始する）	・64 人/年 ・25 人/年 ・資格取得者の 20%が次の支援もしくは就職につながる	2023 年 3 月末	58 人/年 14 人/年	2
②-2　地域の企業とひきこもり当事者をマッチングさせることにより、地域の人材不足が解消されるようになる。	・参加企業数 ・就職者数	・15 社 ・10 人	2023 年 3 月末	「しごとはじめ」→「エンパワメント」「手仕事の修得」までは順調に進んできたが、ここから「就労」への壁はやはり厚いと感じている。私達の団体のもうひとつの中間的就労の場である「しごとや」に進む若者は出始めているが、まだ企業とのマッチングには至らない状況。	3
②-3　ひきこもり等当事者が中間的就労の場に定期的に通うことにより、自分や社会に対する不安が緩和され、自信を取り戻すことができるようになる。	・参加者の内的・外的状態変化 （新しい行動を開始する）	・100 人中 30 人（30%）に状態変化が見られる	2023 年 3 月末	36%の登録生が、就労準備に入る、アルバイトを始める、外出の機会が増える等の変化を見せた。	2
②-4　ひきこもり等当事者が、ものつくりを学び、自分の作品を販売することで、収入を得ることができるようになる。	・参加者数 ・販売金額	・30 人/3 年 ・50 万円/3 年	2023 年 3 月末	現段階で参加者数は 4 名。売上は 19920 円/ 3 年。 【遅延の理由】①企業や地域とのつながりができ、内職や農産物加工な	3

				どの作業が順調に入ってきた反面、納期どおりに納品することが中心になってしまい、ものつくりに集中する時間を削らざるを得ない状況が続いている。結果、自分の作品を販売するのは自宅で作業を行う登録生に限られてしまい、新たな参加者を増やせずにいる。(工夫が必要) ②コロナ禍によりイベント等販売の機会が激減したため、予定していた出店ができなかった。(販売先の開拓が必要)	
③　地域社会がひきこもりや不登校についてより深く知り、それが個人だけの問題ではなく、個人と社会双方の問題であるとの理解が進むようになる。	･活動報告書に添付するアンケート	・1 回目と 3 回目に状態変化が見られる（理解が深まっている）	2023 年 3 月末	２０２２年１月に実施予定	4
④　COVID-19 感染拡大の影響により困難となった事業活動をオンライン化し、新たな作業のあり方、仕事の獲得のしくみをつくる。	新たな作業方法等の実施の可否、新たな仕事の獲得方法の可否	新たな作業方法等の実施、新たな仕事の獲得方法の実施	2021 年 3 月	動画を見て作業を学び、納品する仕組みを構築した。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告

③ 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）２０２２年上期はなし 2.広報制作物等 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3〜4 枚程度）